

対象校No. 849

注1

学校コード F127310107947

注2

変更年度 令和 4年度

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

注2

摂南大学 経営学部 経営学科

認可

## 収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人常翔学園

令和6年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	学長室企画課
職名・氏名	カチュウ フジクラ ミツシ 課長 藤倉 満志
電話番号	072-839-9450
（夜間）	072-839-9450
e-mail	SETSUNAN.Kikaku@joshu.ac.jp

- (注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。
- 2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。  
例) ○○大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

# 目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	3
①経営学部経営学科	
2. 既設大学等の状況 . . . . .	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	7

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 常翔学園

## (2) 大学名

摂南大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒572-8508  
大阪府寝屋川市池田中町17番8号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	変更時	変更状況	備考
理事長	(ニシムラ ヤスシ) 西村 泰志 (令和2年7月)		
学長	(オギタ キヨカズ) 荻田 喜代一 (令和元年11月)	(クボ ヤスユキ) 久保 康之 (令和5年11月)	任期満了に伴う変更。 令和5年11月1日 (6)
学部長	(イワツボ カモン) 岩坪 加紋 (令和4年4月)		
学科長等	(ツルサカ タカエ) 鶴坂 貴恵 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)  
令和6年度に報告する内容 → (6)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。  
・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画						定員変更年度	学生募集の停止について	備考						
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員									
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前						変更後			
経営学部 経営学科 学士(経営学)	4年	170人	280人	2年次 0人	2年次 0人	3年次 4人	3年次 6人	688人	1,132人	令和4年度	-				
区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	280	280	280	280	280	280	-		
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5,804	(0)	3,987	(0)	4,084	(-)			
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	5,231	(-)	3,732	(-)	3,900	(-)			
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1,980	(-)	1,562	(-)	1,436	(-)			
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	323	(-)	327	(-)	274	(-)			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	1.15	-	1.16	-	0.97	-		1.06倍	1.04倍

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の名称、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・ 様式は、令和元年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・ 認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)
  - ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 転入学生は記入しないでください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
  - ・ 「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・ 「(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大学の名称	摂南大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
理工学部	4	585	3年次30人	2,400	-	0.94	-	令和3	昭和50	-	
<u>生命科学科</u>	4	105	3年次5人	430	学士(理学)	0.77	-	令和3	平成22	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	令和3年度から入学定員変更(90→105)
<u>住環境デザイン学科</u>	4	85	3年次5人	350	学士(工学)	1.04	1.02	令和3	平成22	同上	令和3年度から入学定員変更(70→85)
<u>建築学科</u>	4	80	3年次5人	330	学士(工学)	1.08	1.04	令和3	昭和50	同上	令和3年度から入学定員変更(70→80)
<u>機械工学科</u>	4	130	3年次5人	530	学士(工学)	0.90	-	令和3	昭和50	同上	令和3年度から入学定員変更(110→130)
<u>電気電子工学科</u>	4	105	3年次5人	430	学士(工学)	1.02	0.97	令和3	昭和50	同上	令和3年度から入学定員変更(90→105)
<u>都市環境工学科</u>	4	80	3年次5人	330	学士(工学)	0.88	-	令和3	平成22	同上	令和3年度から入学定員変更(70→80)
外国語学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和57	-	
外国語学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	昭和57	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	令和4年度入学生より学生募集停止 令和6年度3年次編入学生より学生募集停止
国際学部	4	250	3年次5人	755	-	0.96	-	-	令和4	-	令和4年度学部設置
<u>国際学科</u>	4	250	3年次5人	755	学士(文学)	0.96	-	-	令和4	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
経営学部	4	280	3年次6人	1,020	-	1.06	1.04	令和4	昭和57	-	
<u>経営学科</u>	4	280	3年次6人	1,020	学士(経営学)	1.06	1.04	令和4	平成18	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	令和4年度から入学定員変更(170→280)
経営情報学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	昭和57	同上	令和4年度入学生より学生募集停止 令和6年度3年次編入学生より学生募集停止
薬学部	6	220	-	1,320	-	0.98	-	-	平成18	-	
薬学科(6年制)	6	220	-	1,320	学士(薬学)	0.98	-	-	平成18	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
法学部	4	280	3年次5人	1,130	-	1.01	0.99	令和3	昭和63	-	
<u>法律学科</u>	4	280	3年次5人	1,130	学士(法学)	1.01	0.99	令和3	昭和63	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	令和3年度から入学定員変更(250→280)
経済学部	4	280	3年次4人	1,128	-	1.02	0.99	令和3	平成22	-	
<u>経済学科</u>	4	280	3年次4人	1,128	学士(経済学)	1.02	0.99	令和3	平成22	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	令和3年度から入学定員変更(250→280)
看護学部	4	100	-	400	-	1.02	1.01	-	平成24	-	
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.02	1.01	-	平成24	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
農学部	4	340	-	1,360	-	0.95	-	-	令和2	-	
農業生産学科	4	80	-	320	学士(農学)	0.85	-	-	令和2	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
応用生物科学科	4	80	-	320	学士(農学)	1.00	-	-	令和2	同上	
食品栄養学科	4	80	-	320	学士(農学)	0.99	-	-	令和2	同上	
食農ビジネス学科	4	100	-	400	学士(農学)	0.97	-	-	令和2	同上	
現代社会学部	4	250	-	500	-	1.02	-	-	令和5	-	令和5年度学部設置
<u>現代社会学科</u>	4	250	-	500	学士(社会学)	1.02	-	-	令和5	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
大学全体	4 6	2,365 220	3年次 50	8,693 1,320	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
  - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
    - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
  - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

### 3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和2年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	・教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (理工学部生命科学科)	理工学部生命科学科における学生募集活動として、令和3年度に同学科教員による高等学校での模擬授業を4件、入試部職員による高等学校での分野別説明会を14件実施した。説明会の内訳は理学分野4件、理工学分野10件で、高校生に対して生命科学科の学問分野とともに本学科のPRを行った。その結果、令和4年度の入学定員超過率は0.80倍、平均入学定員超過率は0.90倍と改善傾向にあることから、学生募集戦略の強化による効果が現れているものと考えている。今後も教育内容の充実を図るとともに、積極的に高等学校へ出向きPRを行う計画である。(4) 【A C】 指摘事項 (改善) 令和4年度は令和3年度と同様の説明会等を10件実施した。加えて説明会では、生命科学科の学びの特徴がより受験生に伝わりやすいように本学同学科の研究の具体例などを用いて「理学分野」の魅力が伝わる内容とした。その結果、令和4年度の入学定員超過率は0.80倍、令和5年度は0.84倍と改善傾向にあることから、学生募集戦略の強化による効果が現れているものと考えている。今後も教育内容の充実を図るとともに、積極的に高等学校へ出向きPRを行う計画である。 (5)	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		

<p>設置計画履行状況調査結果 (令和5年度)</p>	<p>・専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。 (国際学部国際学科)</p>	<p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>令和6(2024)年度に准教授を1人、講師を2人(うち1人は任用替)採用した。さらに准教授2人が教授に、講師1人が准教授にそれぞれ昇任した。令和5(2023)年度末に教授1人と准教授1人が定年により退職し、講師2人が自己都合により辞任した。令和6(2024)年度は教授と准教授は設置時の計画どおり構成しているが、講師は5人減となっている。令和5(2023)年度に公募を行ったが採用には至らなかったため、令和7(2025)年度の教員採用計画において、令和6(2024)年度中に引き続き補充計画を進める。 上述のとおり、退職に伴う専任教員の後任補充は随時行っている。本人都合による辞任により後任者の補充が速やかにできない場合は、当該教員の主要科目は専任教員が担当し、その他の一部科目は当該教員が継続担当、または兼任講師が担当している。「ゼミ・卒業研究」については、当該教員が担当学生の指導内容等を後任の専任教員へ引き継ぎ、学生の履修に影響がないよう配慮している。 (6)</p>	<p>履行中</p>	<p>令和6(2024)年5月下旬から応募者を書類および面接により選考する。引き続き後任補充等により随時運営体制を整備し、学生の不利益また教育研究上の支障がないよう対応する。 (6)</p>
	<p>入学者選抜の適切な実施等を通じ、収容定員超過の改善に努めること。(現代社会学部現代社会学科)</p>	<p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>入試種別ごとに、各学部の定員超過に留意しつつ入学者選抜を行った結果、入学者選抜における現代社会学部の収容定員超過率は、1.16倍(令和5年度)から1.02倍(令和6年度)となり、改善を図ることができた。 (6)</p>	<p>履行済</p>	<p>入試種別ごとの歩留まり率の精度向上を図り、適正な定員管理の継続に努める。 (6)</p>

(注) ・ 「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

**【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。

**【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。